

2021年8月4日(水)

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

緊急事態宣言の発令によって、再びしばらくの忍耐の時となりました。

終息を祈りつつ、時が良くて、悪くて、聖書のみ言葉を共に学び、信仰成長へと導かれましょう。

【テーマ】「幻の報告」⑨升の中の女

【聖書のみ言葉】ゼカリヤ5:5-11を読みましょう。

【これまでのあらすじ】主はゼカリヤに「私に帰れ、私もあなたがたに帰る」と語られました(1:1-6)。

そして、第一の幻では、主に悔い改めること(1:7-17)、なぜなら、第二の幻では、主は罪を必ず裁かれること(1:18-21)、しかし、第三の幻では、主は悔い改める民を守られること(2:1-5)を明らかにしました。更には、第四の幻では、主があわれみによって民を祭司として再び選ばれたこと(2:6-13)、なぜなら、第五の幻では、主は神殿再建のために民を用いられるためであること(3:1-10)、そして、第六の幻では、民は神の霊の力によってその御業を成し遂げること(4:1-14)、だからこそ、第七の幻では、その御業のために、民が悔い改めに導かれていること(4:1-14)を明らかにしました。

【解説】

御使いは預言者ゼカリヤに、第八の幻を見せました(5)。ゼカリヤが御使いに「これは何ですか？」と尋ねると、御使いはエパ升であると応えました(6)。1エパは23リットルですので、エパ升は通常は人が入れるものではありません。幻に出て来た「エパ升」は、「大きな巻物」のように(1-2)、幻のために大きくされたものでした。

エパ升の中には一人の女が座っていました(7)。この「女」は、「全地にある彼らの目」(6)、「邪悪そのもの」(8)とあるように、道徳的・社会的・宗教的な悪のシステムを擬人化したものです。

次に、二人の女の人が幻に出て来ました(9)。彼らは翼を持ち、風の中でエパ升を地と天の間に持ち上げました。ゼカリヤが御使いに、彼らはエパ升をどこに持って行くのかと尋ねると(11)、御使いはシナルの地(バビロン)に神殿が立てられ、その祭壇にエパ升に入った女が運ばれるためであると答えました(12)。

「風」は神の働きを表します。つまり、この幻は、悪のシステムが約束の地エルサレムから取り除かれること、それをなすのは神であることを表しています。主の裁きの時には、悔い改めることのない罪人が地から取り除かれるだけでなく(1-4)、道徳的・社会的・宗教的な悪のシステムも取り除かれ、その時、神がご自身の民の只中に住むと選ばれた「約束の地」が(2:10-11)、真に「聖なる土地」になるのです(2:12)。

【適用】

この世にも道徳的・社会的・宗教的な悪のシステムが存在し、神を悲しませ、人々を惑わし、悩ませ、苦しめます。それらを人の力によって完全に治めることは困難でしょう。しかし、聖書は、神が全ての悪のシステムを裁かれる日が来ることを教えています(2テサロニケ2:6-8)。ですから、私たちは神に希望を置き、イエス様にある神の祭司として生活し(1ペテロ2:5)、イエス様の福音を分かち合って歩みましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。 \* 皆さんに共に祈ってほしいということが何かありましたら、牧師までご一報ください。

ありがとうございました！  
また来週、配信致します。

百合丘キリスト教会

川井信雄

(「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。)